

市政について
問う！

一般質問
代表質問

第四回（二月）定例会では、市長の令和六年度施政方針に対する代表質問が行われ、七つの会派の議員から質問がありました。

※代表質問は「一括質問一括答弁方式」で実施しています。
※文中の波線（~~~~~）については、P.10の用語解説を御覧ください。



全ての質問項目
(通告一覧)
はこちら



志政会
浅原 和美

地域活性化に向けた
企業立地の戦略は

問 令和六年度における企業立地の戦略は。

答 市長／交通の利便性が高く大規模な用地確保の可能性が高い片浜池田線沿道ゾーンにおける新たな事業用地の確保に努めるとともに、県外の産業関連イベントに積極的に参加するほか、各種補助金による資金援助や、ワンストップ窓口によるきめ細やかな伴走型支援を実施していく。さらに、IT企業等を対象に、企業立地をイメージし、ぬまづ暮らしを体感できる視察ツアーを実施するなど、今後も用地確保をはじめとした

企業立地環境の整備や支援体制の充実を図り、労働人材の確保や地域の活性化に寄与する企業立地を積極的に推進していく。

問 鉄道高架事業のさらなる推進に対する考えは。

答 市長／鉄道高架事業をはじめとする沿津駅周辺総合整備事業は、本市の都市の骨格を形成する重要な都市基盤整備である。多くの市民が期待している事業であることから、市民が段階的に効果を実感できるよう、県や鉄道事業者と連携し、着実に事業を推進していく。



沼津志帥会

高齢者の交通手段確保
に向けた取組は

問 高齢者の交通手段確保に向けた取組は。

答 市長／高齢者の交通手段の確保については、公共交通網を維持・活用する取組に加え、利用者の状況を踏まえたきめ細やかな支援策が必要だと考えている。本市では、地域で抱える課題を住民と生活支援コーディネーターなどが協働で解決を図る生活支援体制整備事業を進める中で、令和五年十月から一部の地域において、自宅から高齢者サロンへの送迎支援を開始した。今後も、生活支援体制の整備を推進し、高齢者の交通

植松 恭一

問 スマート農業技術導入に向けた手段の確保に取り組んでいく。

答 市長／農業従事者の高齢化や後継者不足等の課題を踏まえ、ロボット技術やICT等を活用したスマート農業の導入により、農作業の省力化、軽労化や高品質生産の実現を支援していく。具体的には、ドローンを活用した農作物への防除、ICTを活用した農業機械の導入等に対し補助を行うとともに、講演会を開催し、農業者のスマート農業に対する理解の促進を図っていく。

市民クラブ

梶 泰久

移住・定住の促進を図る取組は

問 人口減少に歯止めをかけるため、移住・定住の促進を図る取組は。

答 市長／従来から、対面・オンラインなどにより移住相談にきめ細かく対応してきたほか、移住・定住ポータルサイトのリニューアルやインターネット広告の拡充など、都市的魅力と豊かな自然を併せ持つぬまづ暮らしの魅力の発信に努めてきた。令和六年度は、これまでの取組に加え、ぬまづ暮らしオアシス隊と連携し、本市の住環境を体験するお試し移住への補助を行うほか、移住者同士のミーティングを開催し、情報交

換の場の提供や困り事の相談など、移住後の暮らしを支援していく。

問 放課後児童クラブの運営を専門業者に移行することによる効果は。

答 市長／現在、クラブによって、開所時間などに違いがあるが、専門業者への運営移行により、一部のクラブで実施していた開所時間の延長を全てのクラブで実施するなど、市内で同一のサービスが提供されるようになる。また、事業者の持つノウハウを生かしたイベント開催や管理体制の強化など、サービスのさらなる向上が図られると認識している。

